

2020年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：フィールドリサーチ特論	
担当教員名：佐々木てる	
<p>授業科目概要：</p> <p>社会科学における社会調査の方法論および基本的な考え方について学ぶ。特に質的調査を中心に、ライフヒストリー、ライフストーリーの手法、さらには聞き取り後の作品化の手順などについて詳しく学んでいく。具体的にはこれらのことを学ぶため、フィールドリサーチを中心にまとめた古典を読むことにする。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <p>受講者自身が持つフィールドを明確にし、どのような目的、方法で調査を行う予定であるのかをはっきりとさせておくことが必要である。授業は一方的な講義形式で行うわけではなく、それぞれの研究対象について報告、討論も行う。特に受講者のフィールドにおける、聞き取り結果およびその分析の実践について積極的に議論していく予定である。</p>	
教科書・参考書（参考文献）	
<p>書名：インタビューの社会学 著者／編者：桜井厚 出版社：せりか書房 出版年：2001</p>	<p>書名：ライフストーリー・ガイドブック 著者／編者：小林多寿子 出版社：嵯峨野書院 出版年：2010</p>
<p>書名：まなごしの地獄 著者／編者：見田宗介 出版社：河出書房 出版年：2008（=1973）</p>	<p>書名：民俗学の旅 著者／編者：宮本常一 出版社：講談社 出版年：1993（=1978）</p>
<p>書名：暴走族のエスノグラフィー 著者／編者：佐藤郁也 出版社：新曜社 出版年：1984</p>	<p>書名：鯨を生きる 著者／編者：赤嶺淳 出版社：吉川弘文館 出版年：2017</p>
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>出席および積極的な授業参加、課題図書への報告などを成績評価の基準とする。特に試験は行わない。</p>	
<p>授業目標及び進め方：</p> <p>基礎的な調査の考え方に関しては解説を行い、質疑応答形式ですすめる。また授業のテーマにそった議論を行い、理解を深める。受講者には古典を1冊読み、レジュメを作成し報告してもらおう。受講者全員が本を読んでいることを前提に議論を行う。本の読み方、レジュメ作成に関しては授業中に指示する。教科書、参考書、論文などについても授業時に指示する。積極的な授業参加に期待する。</p>	

第1回	<p>テーマ：社会調査への窓口</p> <p>内 容： 基本的な社会調査の考え方を共有する</p> <p>教科書／参考書 特になし</p>
第2回	<p>テーマ：聞き取りの技法</p> <p>内 容：フィールドリサーチの基本的な考え方と方法について</p> <p>教科書／参考書</p>
第3回	<p>テーマ：ライフストーリーインタビュー①</p> <p>内 容：ライフストーリー、ライフヒストリーについて学ぶ</p> <p>教科書／参考書 『インタビューの社会学』</p>
第4回	<p>テーマ：ライフストーリーインタビュー②</p> <p>内 容：ライフストーリーインタビューの研究史を学ぶ</p> <p>教科書／参考書『インタビューの社会学』</p>
第5回	<p>テーマ：古典を学ぶ①</p> <p>内 容：古典を通じて調査の作品化を学ぶ</p> <p>教科書／参考書 『まなざしの地獄』</p>
第6回	<p>テーマ：古典を学ぶ②</p> <p>内 容：古典を通じて調査の作品化を学ぶ</p> <p>教科書／参考書 『民俗学の旅』</p>
第7回	<p>テーマ： 作品を読む①</p> <p>内 容： 論文を読み討論する</p> <p>教科書／参考書 未定</p>
第8回	<p>テーマ：作品を読む②</p> <p>内 容：論文を読み討論する</p> <p>教科書／参考書 未定</p>
第9回	<p>テーマ：研究報告①</p> <p>内 容：研究フィールドの報告と議論を行う</p> <p>教科書／参考書</p>
第10回	<p>テーマ：古典を学ぶ③</p> <p>内 容：古典を通じて調査の作品化を学ぶ</p> <p>教科書／参考書 『暴走族のエスノグラフィー』</p>
第11回	<p>テーマ：作品を議論する①</p> <p>内 容：昨今のまとまった著書を読み討論する</p> <p>教科書／参考書 『鯨を生きる』</p>
第12回	<p>テーマ：研究報告②</p> <p>内 容：研究フィールドの報告と議論を行う</p> <p>教科書／参考書</p>
第13回	<p>テーマ： 作品を議論する②</p> <p>内 容：昨今のまとまった著書を読み討論する</p> <p>教科書／参考書 未定</p>
第14回	<p>テーマ：研究報告③</p> <p>内 容：研究フィールドの報告と議論を行う</p> <p>教科書／参考書</p>
第15回	<p>テーマ：総合討論</p> <p>内 容：聞き取り調査の実践的な研究方法に関してまとめる</p> <p>教科書／参考書</p>